

令和6年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・育てる植物を自分で決めたり、一人一つは育てたりすることで、植物への興味・関心を高めることができた。
- ・タブレットのカメラ機能を使って、記録したり、ペン機能で書き込んだりして、細かいところまで観察することができた。
- ・植物を見たり触ったりする機会を設けたことで、より具体的な気付きが増え、交流することができた。

(2) 課題

- ・観察する前に観察のポイントを知らせたが、より詳しく見る視点を提示することが課題である。
- ・他教科と関連付けて活動を計画し、より気付きを高めていくことが課題である。

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様々な気付きの中でも、自分自身についての気付きを大切にしていく。 ・見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどの具体的な学習活動を、地域の施設、外部人材、児童の生活経験などの実態を考慮して選定していく。	・自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たどる、試す、見通す、工夫するなどの学習活動で、分析的・創造的に考えられるようにする。 ・気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法で表現し、他者との交流を通して、気付きの質を確かなものにしていく。	・児童が思いや願いに基づいて、身近な人々、社会及び自然に自分から働きかけられるようにする。 ・毎時間の振り返りを通して、満足感や達成感などのやり遂げたという気持ち、自分のよさや可能性に気付くことができるようにする。